

## 第3学年美術科学習指導案

日 時 平成27年11月19日(5校時)  
 学 級 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校3年1組  
 男子22名 女子16名 計38名  
 授業者 教諭 齋藤 里香

### 1 題材名

受けつがれる形 ～自分ブランドのシルバーアクセサリー～

### 2 題材について

#### (1) 教材について

本題材は、学習指導要領の内容の〔A 表現〕の「(2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。」と「(3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。」に基づいて設定したものである。(2)の3つの指導項目の中でも特に、「ウ 使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想をねること。」が中心となる。1学年で学習した発想や構想の仕方をもとにして、他者に対する心遣いや、昔から受けつがれてきたいろいろな国の文化や造形などを学びながら、造形的な工夫を一層深め、自らの独自性を発揮できるようにする必要がある。また、(3)の2つの指導事項の中では、「ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」を特に意識して指導する。「材料」には、硬さ、柔らかさなどの特性とともに、温かさ、優しさなどの感情的な要素がある。また、「用具」には、切る、削る、彫る、磨くなどの機能面としての特性がある。これらを自分の表現に主体的に生かしていくためには、自分が表したい表現意図を明確にするとともに、材料や用具に関する知識や経験をもっておく必要がある。その上で、表したいことを具体的な形にしていく中で、生徒自らの必要感から工夫が行われるようにさせていきたい。表現の技能を高めるためには、【B 鑑賞】の学習活動とも関連させながら、生徒の目を広げることが重要である。

#### (2) 生徒について

##### ア 学習アンケート (美術授業について 3年1組 27年6月実施)

質問事項	肯定的回答の割合(%)	
	とても	やや
1. 学習課題が明示されていますか。	60.5	34.2
2. 授業を通して、何について学習するかがわかりますか。	52.6	36.8
3. 授業での先生の説明する内容はわかりやすいですか。	39.5	50.0
4. 授業における板書の内容はわかりやすいですか。	42.1	52.6
5. 授業中の課題や宿題の内容は、自分の力で解くことができますか。	39.5	52.6
6. 学習課題に対して振り返る活動を行っていますか。	39.5	42.1
7. 美術の授業に意欲的に取り組んでいますか。	44.7	42.1
8. 自然や美術文化、他の人の作品などに、親しみや良さを感じようとしていますか。	44.7	42.1
9. よりよい表現を目指して、試行錯誤しながら、根気強く作品を制作しようとしていますか。	44.7	52.6
10. 自分で考えて、自由に発想して表現することが好きですか。	36.8	47.4

よりよい表現を目指して、根気よく取り組もうとする生徒がほとんどである。自由に発想することや表現することに苦手意識を持っている生徒が多いので、自分で考えることが、楽しいと感じるような授業をつくるために、評価や具体的な説明を心がけていきたいと思う。

## イ 授業の様子

意欲的な態度で授業に参加している生徒が多い。中には、発想や技能が伴わず、自信を持つことができない生徒もいるが、努力して作品を仕上げている。今年度の最初の作品「修学旅行4コマ漫画」では、グループの活動が効果的であった。その後の自画像制作では、自分と向き合うことを目標としていたため、多くの鑑賞資料を準備し、独自の目標を設定させたが、達成感に差が出てしまった。

### (3) 指導について

自らの伝統を守りながら、自然と共に生きることの大切さを、様々な形で伝えてきた先住民族と呼ばれる人々がいる。その素朴な表現の良さを味わわせ、それらに込められた「大切なこと」がどのようなことなのか、話し合わせ、考えさせたい。また、その「大切なこと」を受けついでいく意義を感じさせながら制作に取り組みさせたい。自画像制作を終え、最後の文化祭を終えた3年生にとって、このシルバーアクセサリーの制作過程の中でも長い時間をかける研磨の時間には、自分を見つめ、周りとは話し合う有効な時間となるように指導していきたい。

### 3 題材の指導目標

- ・モチーフに込められた意味に興味を持ち、自分の思いを込めて作品のデザインを構想することができる。 【美術への関心・意欲・態度】【発想や構想の能力】【鑑賞の能力】
- ・アートクレイシルバーの特徴を生かして、形成や研磨など、根気よく制作することができる。 【創造的な技能】

### 4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自然とのつながりなどから生まれた形に触れ、感じたことや考えたことを基に表現することに関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	自然とのつながりなどから生まれた表現から感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどを基に、形を簡潔にしたり総合化したりするなどして、表現の構想を練っている。	アートクレイシルバーの特性を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫するなどして、手順などを総合的に考えながら見通しをもって表現している。	形体と装飾との調和のとれた洗練された美しさ、つくり手の意図などを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解している。

### 5 指導と評価の計画（9時間）

時	学習内容	観点				評価規準
		関	発	技	鑑	
1	・DVDでアートクレイシルバーの制作過程を知る。 ・「大切なこと」について各自で考える。	○				・大まかにアートクレイシルバーの制作過程を理解し、関心を持つことができる。(関) ・自分にとって、人間にとって大切なことは何か考えることができる。(関)
2 本時	・「大切なこと」について周りとは話し合い、先住民族の「モチーフ」を参考に、自分のアクセサリーのアイデアスケッチをする。	○	○		○	・自分や人間にとって大切なことは何か、話し合いと鑑賞の中から新たな発見をすることができる。(関)(鑑) ・アメリカンインディアンアクセサリーモチーフに興味を持つことができる。(関) ・話し合いや鑑賞を基に、自分のモチーフを考えることができる。(発)

3	・アイデアスケッチを完成させる。		○	○	・アイデアスケッチから、自分のモチーフを決定することができる。(発)(技)
4	・紙粘土でモデルを作る。			○	・自分のモチーフのイメージを立体にすることができる。(技)
5	・アートクレイシルバーでアクセサリーを形成する。			○	・アートクレイシルバーの特性をつかみ、形成することができる。(技)
6 7 8	・研磨			○	・シルバーの様々な仕上げ方に向けて研磨することができる。(技)
9	・相互鑑賞			○	・お互いの作品を鑑賞し合い、思いを話し合うことができる。(鑑)

## 6. 本時の指導

### (1) 指導目標

- ・自分や人間にとって大切なことは何か、話し合いの中から新たに発見することができる。  
【美術への関心・意欲・態度】
- ・アメリカンインディアンのアクセサリーモチーフに興味をもつことができる。  
【美術への関心・意欲・態度】
- ・話し合いや鑑賞を基に、自分のモチーフを考えることができる。  
【発想や構想の能力】【鑑賞の能力】

### (2) 指導構想

本時は、アメリカンインディアンのアクセサリーモチーフなどを参考に、自分や人間にとって大切なことは何かを考えさせながら、自分で制作するシルバーアクセサリーをイメージしていくことが目標である。

前時に書かせた「大切なこと」を基に話し合わせ、その後、アメリカンインディアンのアクセサリーモチーフの意味について教え、伝統や現代社会で生きる自分たちのことを思いながら、自分のモチーフを考えさせていきたい。

### (3) 本時の評価規準

観点	A:十分満足できる	B:おおむね満足できる	C:努力を要する生徒への手立て
美術への関心・意欲・態度	モチーフの意味に興味を持ち、伝統について、自分について考えることができる。	モチーフの意味に興味を持ち、伝統について考えることができる。	具体的なモチーフを例に、アメリカンインディアンの思いを想像させる。
発想や構想の能力	アイデアスケッチをすることで、自分が作りたいシルバーアクセサリーのモチーフをしぼることができる。	アイデアスケッチをしながら、自分が作りたいシルバーアクセサリーのモチーフを考える。	「大切なこと」を振り返らせて、具体的な形の例を示し、参考にさせる。

### (4) 本時の展開

段階	指導内容	学習活動	指導上の留意点及び評価 ★評価 ◎手立て
導入 10分	1、前時の振り返り 2、「大切なこと」を交流させる。 3、シルバーアクセサリーのデザインを考える方法を知らせる。	・前時の活動を振り返って、自分にとって、人間にとって、大切なことは何か話し合う。 ・アクセサリーの意味や、シルバーについて、また、大切なことをアクセサリーの中に込める文化について知る。	・全体で交流する。必要に応じてグループも使う。 ★他の人が大切だと思っていることと自分の考えを比較できたか。(関)

	4、学習課題の設定		
	学習課題	私のシルバーアクセサリーモチーフを考えよう。	
展開 30分	<p>5、アメリカンインディアンのモチーフについて知らせる。</p> <p>6、自分が大切に思うことを手掛かりに、アクセサリーのモチーフを考えさせる。デザインする時には、「単純化」や「組み合わせること」などを指導する。</p>	<p>・現在も受けつがれてきている形や新しくデザインされている物について、見たことがある人や、インディアンの精神世界などを交流し合う。</p> <p>・モチーフについてアイデアスケッチをする。</p>	<p>★アメリカンインディアンのアクセサリーモチーフに興味を持つことができたか。(関・鑑)</p> <p>◎具体的なモチーフを例に、アメリカンインディアンの思いを想像させる。</p> <p>★自分のモチーフをどの程度考えることができたか。(発)</p> <p>◎具体的な形の例を示し、参考にさせる。</p>
終末 10分	<p>7、学習の振り返り</p> <p>8、次時の学習内容の確認</p> <p>9、学習プリント記入</p>	<p>・モチーフとそれを考えた理由を小グループで交流する。</p> <p>・次時は、アイデアスケッチを完成させることを確認する。</p>	<p>・時間があれば発表させる。</p>

### (5) 板書計画

11月19日 受けつがれる形 ～自分ブランドのシルバーアクセサリー～

学習課題：私のシルバーアクセサリーモチーフを考えよう。

	3年1組	ホピ族
大切なこと	● ● ● ●	・神と交信 水 太陽・・・
モチーフ	● ● ● ●	・フェザー 平和 絶対神 生命



守りたい、伝えたい→いつも身につけていたい

いつも身につけていてほしい→**アクセサリー**

アイデアスケッチ・・・(モチーフを単純化してデザインする)

(モチーフを単純化して組み合わせてデザインする)

### ※ 小学校での学習との関連図

【小学校】5, 6学年

**表現 (2) ア** 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見つけて表すこと。

**鑑賞 (1) ア** 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じとること。

\*材料、用具は初歩的な形で前の学年で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げる。



【中学校】2, 3年生

**表現 (2) ウ** 使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。

(3) イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。

**鑑賞 (1) ウ** 日本と諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。